



# アの爽風



～目次～

- 病院短信『継続していかなければいけない事』  
看護部 部長
- 看護日誌
- 作業療法科だより
- 日常の一コマ
- 『お花見』  
主演 ナナ

## 4月の予定

- ◆お花見会  
4月初旬予定
  - ◆誕生日会  
1病棟: 11日(金) 14:15～  
2病棟: 10日(木) 14:00～  
3病棟: 9日(水) 14:00～
- 各病棟にて



## 3月お誕生日会

ひな祭りクイズ大会!



3択問題、正解の数字にお手玉を  
投げよう(w)ノ



ひな祭り玉入れ!



小さなかわいいお雛様の箱にお手玉お  
入れよう。難し〜い(\*\_\*)

ひし形タワーバトル! 患者さん VS 職員



崩さない様に・・・でも職員側のタワー  
造りは、邪魔してOK <~>

これから お花見しよう ☀️

ナナ、桜だよ ☀️

桜は食べ物じゃないのダメ!

番外編

お花見 (\*'▽'\*)

1 何が始まるの(^^) \_U~~

2 んっ、何だ<へ>

3 いい香り 🌸

4 食べちゃだよ 🌸

美味しい 🍴

ちようだい 🌸

今日のナナ 🐶

ナナは桜を見るより、やはり  
食べる方が好きなようです ♡  
癒されるウ〜〜っ(\*'ω`\*)



『継続していかなければいけない事』  
院庭の桜の木の花びらが膨らんできました。温暖化の影響で暑い夏が年々長引き、過ごしやすい春も秋も感じる暇もなくあっという間に過ぎていきます。今年も患者さん達と桜をじっくり長く見られる春を感じたいです。

さて、「ユマニチュード」という言葉を度々聞かれるようになったと思います。「人間らしさを取り戻す」という意味を持ち、知覚・聴覚・触覚などを用いたコミュニケーションに基づく、認知症の方へのケア技法の事を指します。ユマニチュードのケアレベルには「回復」「機能維持」「最後まで寄り添う」の3つがあり、目的は身体的および認知機能の回復や維持であり本人の状態に合わせたケアが必要です。「4つの柱」を定めています。

- ・「見る」正面から水平に見る、近く長く見る
- ・「話す」ゆっくり穏やかに話す
- ・「触れる」広い面積で触れる、つかまない、ゆっくり手を動かす
- ・「立つ」1日20分程度立つ時間を作る

このユマニチュードを正しく実践することで認知症の方の生活の質の向上はもちろんです、職員の負担軽減やモチベーションにも寄与することが期待できると思います。以前から「ユマニチュード」を知っていても現場でこの技法を活用することはありませんでした。認知症を正しく理解し、目上の人を敬う気持ちを持つ

つことで、ユマニチュードの技法に近いことが誰もが自然にできるようにしていかなければなりません。  
令和5年から認知症ケア専門士(4名)と上級者研修済の認知症介護指導者とともに年5〜6回の演習形式の研修を行ってきました。日々の仕事をこなすため、スピード重視となつてしまいがちで、ユマニチュードを忠実に実践すると正直業務に支障が出てきてしまいました。研修の参加後、意識して接してみたりや研修内容を心掛けてケアしてみたいという意見もありました。業務に支障がなくユマニチュードの基本をもとに日々の業務に使える様な院内独自の技法を認知症ケア委員会のメンバーとともに取り組んでいます。  
2040年度に65歳以上の高齢者人口がピークに近づき、軽度認知障害を合わせるとおよそ3人に1人が認知機能低下の症状を生じると厚生労働省の発表がありました。遠くはない将来に向けて需要が高まり患者さんも職員も働きやすい安心できる居場所を作り続けたいです。



## 日常のーコマ



今月は2病棟の一枝さん(92歳)です。一枝さんは生まれも育ちも川越で、地元の女子高を卒業後は幼稚園の先生として働きました。22歳でご結婚され、男の子に恵まれました。しっかり者で社交的な一枝さんは、知人から頼まれ商店街の街頭放送のDJもやっていたそうです。また、幼稚園退職後は日舞の師範としても活躍し、幼稚園の先生・日舞の師範としてたくさんの教え子に慕われていました。長男さんのお話では、「母は子供を教えるのが好きで、教師か踊りの先生になりたかったそうで、どちらの夢も叶えられた」とおっしゃっていました。他にも「私が子供の頃、母は楽しそうに働いていた。また、肩こりがあったので、母の肩をもんでいました。」とも語ってくれました。

86歳の時に転倒し左大腿骨骨折で手術を受け、その後退院されました。87歳頃より物忘れがみられ、その後も易怒性などが目立つようになりました。90歳の時、自宅で転倒してしまい、左硬膜下血腫等の大ケガをされ急性期の総合病院に入院されました。その後、リハビリ目的で転院となりましたが、認知症状が進んでしまい、ご自身で安全を保つことが難しくなり、バランスを崩しやすく転倒しやすいということで、当院に入院されました。

入院後の一枝さんは、明るくユーモアのある会話をテーブル仲間やスタッフと楽しんでおられます。



一枝さんは、東京電力で働いていたご主人を尊敬していたので、よく東京電力の話をしたり、日舞の生徒さんの話を楽しそうにお話されます。ご長男さんも面会時には、幼稚園で印象に残っている子の話をよく話されているそうです。食べる事が大好きな一枝さんですが、お口に合わないものが出るとすました顔で歯磨きを始めます。スタッフがもう少しすすめても、ニコニコ笑って「もういいの」と言われます。笑顔の素敵な一枝さんがいつまでもニコニコできるよう、お手伝いできたらと思います。

## 作業療法科だより

活動の中で、高齢者の方々の子どもの頃や青春時代のときに流行った歌謡曲やステージの映像を流すことがあります。じっとスクリーンを見つめ続ける方、一緒になって歌を口ずさむ方、気持ちよくウトウトと眠りにつかれる方、など楽しみ方は様々です。

とある日、普段は落ち着かず歩き回ることが多い男性の患者様が、歌の映像が始まるとスクリーンには視線は送りますが、とても気分が良さそうに曲に合わせて両手両足をリズムよく動かしています。どうやら昭和40〜50年代の歌謡曲のときに反応が良いようです。そして、キャンディーズの「春一番」が流れ、中盤のサビにかかり、「もうすぐ春ですねえ」の歌詞が流れた瞬間に、曲に合わせてきれいな音色の口笛を吹いたのです。私はとても驚きました。

活動を通して、時々普段見られない患者様の意外な反応を目の当たりにすることがあります。これからも良い反応をたくさん引き出せるように、また楽しんで頂けるよう取り組んでいきたいと思っています。



## 看護日誌



最近お米の値段が高くなっています。以前は5Kg2,000円台で買っていましたが、4,000円近くになってしまいました。3病棟の患者さんで、お箸を使いお米を一粒残さずきれいに召し上がる方がいます。食べたお茶碗やお皿はとってもきれいです。食べ物を大事にすることを見習いたいと思います。